

Information MAP
YASHIKIYAMA
屋敷山
ミツマタ群生地
案内マップ
MITSUMATA
(桐生市梅田町方面から屋敷山ミツマタ群生地へ)



草木ダム草木橋方面へ向かう方へ
林道三境線で草木ダム方面へ抜かれるが、普段から車の通りが少ないため、道が荒れている場所が多々あります。特に石、落石には注意。屋敷山ミツマタ群生地から草木ダムの橋まで約12km。



座標 36°31'58.0"N 139°25'23.7"E



Point 3
ここが 屋敷山ミツマタ群生地
目的地の屋敷山ミツマタ群生地。入口に看板あり。駐車場は特にありません。
※入口を普通自動車で行くのは危険です。

清風園よりも更に道なりに進みます。場所により道も細くなるので、運転には十分お気をつけください。
※徐々に携帯電話の電波も繋がりにくくなります。



根本山シール販売中

(根本沢コース / 中尾根コース登山口)
※根本山へのお一人様登山は十分ご注意ください。

根本山・熊鷹山利用者の駐車場あり。(登山者はここから歩きで登山口へ向かうことを左折して進む。ここから屋敷山ミツマタ群生地入口まで2.2km。車4分、徒歩35分。車をここに置いて、歩いて行く人も多いです。)



Point 2
ミツマタ
清風園を通り過ぎた先に、ここにも少しミツマタが生息しています。



Point 1
梅田台緑地公園
梅田台緑地公園の隣には、ロウバイパークがあります。1年を通して草花が見られる場所として、近年知られつつあります。ロウバイ、ミツマタ、彼岸花、金木犀など。



Information

- 屋敷山ミツマタ群生地への道案内マップです。
毎年3月中旬頃から4月上旬にかけて、ミツマタが咲きます。屋敷山ミツマタ群生地への道は、桐生市内から梅田町方面へ進み、梅田湖を目指します。(梅田湖の橋付近から約11km、車で約20分かかります)奥に進むにつれ、道幅が狭い所も多く、車同士のすれ違いも大変な場所がありますので、十分ご注意ください。※運転に不慣れな方はお控えください。
- 屋敷山とは何ですか？
昔この地に何軒かの民家がありました。そしてそのエリアを屋敷山と呼んでいました。今でもその頃の祠や石垣が残っています。今では、自然に咲き始めたミツマタで埋め尽くされた広大な姿がみられます。
- ミツマタとは？
ミツマタは、冬になれば葉を落とす落葉性の低木であり、ジンチョウゲ科のミツマタ属に属します。3月から4月頃にかけて、三つ又(また)に分かれた枝の先に黄色い花を咲かせます。花がたくさん咲いた時には、とても良い香りもします。ミツマタの樹皮は和紙や紙幣の原料として用いられています。ミツマタは、その枝が必ず三又、すなわち三つに分かれる持ち前があるために「ミツマタ」と名付けられた。

YouTube Umeko376
桐生市梅田町の景色をドローンで撮影した動画を載せています。興味がある方はご視聴ください。

桐生市内から梅田湖方面へ
スタート

自然を大切に。自分が出したゴミは全て持ち帰りましょう！あなたの行動は、自然も全て観ています。